

| | | | | | |
|------|---------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 対)意思決定論 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 上田 真由美 | 開講期・曜日・時限 | 前期 火曜日 2時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 3年生 |

主題と概要

日常生活の中で、様々な側面で、意識的・無意識的に意思決定を行っている。個人的な内容に関する意思決定の場合や業務内容に関する意思決定の場合、また、個人で意思決定を行う場合や組織で意思決定を行う場合など、様々な「意思決定」が存在する。本講義では、客観的な意思決定を支援するため、意思決定の基本知識の習得および、意思決定の際に用いる各種手法の理解を目指す。

到達目標

意思決定の基本的な仕組みについて理解し、問題解決に必要な統計手法を中心とした情報処理手法について習得する。また、処理によって得られた結果を読み解き、意思決定のための提案をできる力を身に付ける。

なお、毎回PC演習を行うため、オンデマンドでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であることから、オンデマンドでの開講はできません。但し、新型コロナウイルス感染症の感染者、または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった場合は、通学できない期間の講義を補充するためオンライン(LIVE)で配信します。

提出課題

時間内に練習問題を行う。また、レポート提出を課することがある。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

理解状況に応じて、時間内や次回講義時に講評・解説を行う。

評価の基準

期末試験(50%)、時間内課題およびレポート(50%)によって評価する

履修にあたっての注意・助言他

本講義では授業内容の理解を助けるため、Excelを用いた練習問題を行う。これらの問題に対して積極的に取り組み姿勢が必要である。また、時間内にできなかった問題は、次回の講義までに十分に復習をし、理解してくることを求める。(全面オンラインになった場合、Excelがインストールされたパソコンが必要になります)

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

該当なし

授業計画

1. 意思決定とは
2. 意思決定のプロセス
3. 意思決定に用いる統計手法1
4. 意思決定に用いる統計手法2
5. 相関係数1
6. 相関係数2
7. 相関係数3
8. 練習問題
9. 回帰分析1
10. 回帰分析2
11. 回帰分析3
12. 最適化問題1
13. 最適化問題2
14. 最適化問題3
15. まとめ

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア:PBL(課題解決型学習) | イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ:ディスカッション、ディベート | エ:グループワーク |
| オ:プレゼンテーション | カ:実習、フィールドワーク |
| キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | |

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業資料 ノートなどを読み返し、授業内容の理解に努めるよう復習をすること。
なお、時間内に説明したExcel操作の復習(1.5時間程度)と、課題への取り組み(2.5時間程度)が必要である。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標を達成することにより、情報を分析し、活用する力を身に付け、経済社会の様々な問題に対して解決策を提案できるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

演習時に説明と実際の操作画面が見えるよう、画面の表示を工夫する。
なお、受講者は毎回、PCを用いた演習を行い、操作結果について講義する。

実務経験の有無及び活用

該当なし

備考

授業計画は、受講者の状況に応じて、変更することもあります。